

# 事後評価報告書

総合理工学研究機構運営・評価委員会

平成28年7月21日(木)

研究課題	山梨県固有のデザインソースの編集とアーカイブ構築	
研究期間	平成25年度～27年度	
	評価項目	平均点
	1 目標の達成度	3.8
	2 研究成果の活用及び実用化の可能性	4.0
	3 今後の発展性	4.5
	4 総合評点	4.1
<p>デザインソースの集約が非常に良く出来ており、山梨の資産を活用したユニークな且つ優れたアーカイブが構築された。県の活性化に寄与し得る可能性を有しており、行政への貢献が期待できる。業界・学校・行政に本データの存在を公開してほしい。また、本アーカイブはビジネスへの活用が期待できるので、県内産業のビジネス活用を第一義に考え、公開を進めてほしい。</p> <p>一方、アーカイブの公開とデザインソースの権利保護は、非常にバランスの難しい問題である。アーカイブを広くWeb公開することでアーカイブの利用が促進される反面、世界を含め県外からの利用も可能となり、デザインソースの無断使用の危険性も高まる。Web公開にあたっては、関係機関と連携し、法律関係の専門家を加え、山梨オリジナルの定義や権利関係を明確化することが必要である。また、全てのデータソースの権利化は難しいので、優先度を決めて縄文土器の3Dデータなど希少性の高いものについては権利化することが必要である。</p> <p>県内には、今回デザインソース化されたもの以外に甲州文庫や童謡などの大量の資産がある。今後もデザインソース化を継続し、データベースの量と質を向上させることでさらなる発展を期待する。</p>		